



通信

みんなをつなぐ情報誌

2026年6月号 No. 368

編集・発行/いむた小児科

〒830-0037 久留米市諏訪野町 2284

☎ 0942-30-7611 fax 0942-30-7612

CONTENTS

☆夏カゼ症候群に注意

☆虫刺されに注意／青切符／日脳ワクチン

☆野外で遊ぼう（鳥類センターと青少年科学館）

☆今月の診療予定／予防接種

ホームページ: <https://www.imuta.com>

夏カゼを起こす代表的なウイルスには、アデノ、エンテロ、エコー、コクサッキーなどがあります。子どもは体重あたりの水分量が大人の約3倍あり、腎臓などの内臓機能も未熟。そのため、年齢が低いほど、夏カゼに



乳幼児の間で夏の時期に流行する夏カゼ症候群。流行の時期は5月～9月頃で、多くは日本特有の高温多湿な環境を好むウイルス群が原因です。

夏カゼ症候群に注意



◆手足口病
腸の中にいるコクサッキーA16、その他エンテロウイルスが原因で、4～5歳頃の乳幼児の間で流行します。

◆プール熱
アデノウイルスが原因で、症状は高熱と目の充血、のどの痛みが特徴です。プールを介して流行しやすいのでこの名前がついていますが、プールに入らなくても感染します。今年は例年より流行しているようです。

罹ると脱水症状を起こしやすくなります。周りで夏カゼが流行りだしたら、お子さんの様子に注意しましょう。

これから暫くは暑さや寝苦しさで体力も消耗しがち。高熱と発疹が出たら夏カゼ症候群かもしれません。お子さんの体調に変化が見られたら、早めの受診で悪化を防ぎましょう。



◆ヘルパンギーナ
コクサッキーA群ウイルスが原因で、乳幼児の間で流行します。高熱が出てのどに水疱ができるため、飲食ができず脱水症になりやすい疾患です。

熱はあまりなく、手のひら、足の裏、口の中に小さな水ぶくれができます。まれに髄膜炎を発症することもあります。

(6月のカレンダー)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2 ★	3 --	4 ★	5 BCG	6
7 休	8	9 ★	10 ★	11 ★	12 BCG	13
14 休	15	16 ★	17 ★	18 ★	19 BCG	20
21 休	22	23 ★	24 ★	25 ★	26 BCG	27
28 休	29	26 ★	30 ★			

★印（予防接種・乳幼児健診）

6月の当番医

7日／長井小児科（天神）

14日／本間小児科医院（城南）

21日／さかた小児科クリニック（旗崎）

21日／井上医院（櫛原）

（夜間休日：聖マリア病院）

#8000（小児救急医療電話相談）



謎の風邪？
ゴールデンウィーク以降、福岡県で謎の風邪が流行していると話題になっています。発熱はなく、のどの痛みや鼻水、咳がひどいなどの症状が多いようです。福岡県医師会では原因を調査中とのこと。
アレルギーやウイルス性など、様々な要因も絡んでいるかもしれませんが、ウイルス性であれば、基本的な感染対策が有効です。
日ごろからの手洗い消毒、周囲で風邪が流行っていれば適宜マスクなどに対応しましょう。症状が気になるときは早めの受診を。

INFORMATION

いむた小児科

院長 伊牟田富佐恵

（小児科専門医認定医）

診療受付：月曜～土曜

8:30～12:00、14:00～17:30

土曜 ～17:00

※予防接種のある日は

午後3時頃からの診療です。

休診日：日曜・祝祭日



—事前にご予約ください—

☆予防接種

毎週、火・水・木・金
（14:00～15:00に実施）

☆乳幼児健診（個別）

毎週、火・水・木
土曜も月2回程行っています

他の日時もご相談ください。